

野球同好会活動報告

～ 2025年パテント杯及び随時メンバー募集～

野球同好会

長谷川 博道



初戦の写真（10試合に1試合あるか否かの笑顔に溢れた写真。ひとえにリスペクタブルな対戦チーム JAFBIC 様のおかげです。）

< 2025年パテント杯 >

（初戦）

初戦の相手は JAFBIC チームでした。

下調べで強豪チームの1つでしたので、五分五分以下と予想してましたが、直前で実力ある若者らがちらほら集まりました。

JAFBIC ピッチャーは、球威とコントロールがよく、インハイにアジャストしようとする、アウトローにビシッと決めてきました。試合勘が鈍くなっており、微妙な所で気後れしていた僕個人は不甲斐なさすぎでした。

途中でかなりの雨が降り出し、試合が中断されました。テントを完備している相手チーム JAFBIC 様は呉越同舟になるにもかかわらず「こっちにおいでよ」と雨宿りさせていただきました。

JAFBIC チーム様テントにチーム一丸となり押し寄せて雨宿りさせて頂き、非常に良い思い出になりました。例えるなら、幼少期に山登りの帰山時に麓のお茶屋さんで楽しみにしていたジュース飲みながらの一休みする感じです。

以上のように、相手チーム JAFBIC 様は常にフレンドリーでリスペクタブルでした。



2回戦の写真（やけによい写真）

（2回戦）

2回戦の相手は強豪の鈴榮ブルーシェイクスでした。

試合勘が鈍くなっていた僕個人は、不甲斐なさすぎでした。

試合後の反省飲み会で、後半は押せ押せワッショイワッショイモードの感があったから実力的には勝てる旨を客観的に見ていた者に言われました。前半どうかしろと暗に言われた気がします。その原因の大きな所は僕にあるのですが、詳細は伏せますが（改善点をよく検討しようと考えてます。）、そもそも、強豪鈴榮ブルーシェイクスに対して勝ちを取りに行く姿勢が僕になかったのも敗因と考えてます。

（若者参戦）

昭和の高度成長期に若者は「金の卵」と言われていたようですが、少子高齢化が極度に進行した現代において、若者は、昔よりももっともって価値が高くありがたい真の「金の卵」だと思います。そのような若者らがちらほらと参戦してくれるようになってきました。

将来の弁ク、NGB、特許業界、ひいては日本（他国（真珠湾の裏で中国に大敗北していたらしいです。機会があればよく勉強しておきたいと思います。）に侵攻される以前に熊に浸食されている現状国力に危機を覚えており、人口爆発を引き起こす発明は無いかな。）を背負って行ってくれることを希望します。

（敗者復活戦廃止）

敗者復活戦は実力をつける重要な機会と位置付けていたのに、極めて残念なことに、運営側により廃止されました。廃止を反対する懇願メールを送付したにもかかわらず、色々理由を付けて廃止されました。特許庁系チーム、強豪チームは敗者復活戦を廃止にしたかったようです。パテント杯は、毎年の単なる催し物に成り下がるリスクが出てきました。

(まとめ)

上記のようにパテント杯は年間数試合(場合により年1試合)しかなく玉に瑕ですが、特許庁、会派、事務所等参加の特許業界のイベントです。

固定的なメンバーが10人に達したら、パテント杯のみならず、星の数ほど存在する都内草野球チームと練習試合を組む、別リーグへの参戦等を模索して行こうと思います(達成前に引退を迎え挫折するリスク有り)。

上記のように、個人的には、不甲斐なさすぎでしたので、来年へ向けて老体に鞭を打って飛び入り助っ人参加の武者修行を入れて行こうかと考えてます(しかし、上記武者修行を継続しすぎると、落ち武者のような気分になり精神的に擦り切れることが予想されます。)

<随時野球メンバー募集中>

(1) 弁ク野球チームは随時メンバー募集中です。レクリエーション目的重視で老若男女問わず、巧い下手問わずどなたでもご参加頂けます。所員の非弁の友人でも問題ないです。例年のパテント杯や練習会等の楽しい機会を共有できるはずですし、野球を通じて新たな出会いがあり、懇親を深めることができるはずです。

やる気がある方の僕でさえ老人(近頃、心筋梗塞に気を付けるようになりました。)なので、老人がいくら頑張ったってたかが知れておりますので、それよりもレクリエーション目的重視で人が多い方が断然、組織として向上することが希望できます。

運動不足とお嘆きの皆さま、そしてもっと知り合いができたらいいなあと思われている皆さまは、長谷川博道(メール: hirohasegaw@gmail.com)、伊藤和真先生、権正英樹先生、澤田孝之先生、潮太郎先生、又は弁ク事務局まで、ぜひご連絡お願い致します。

(2) 僕にとって最も不得意だった論文試験がある地獄のような受験時代を経て弁理士になって非常に良かったことの1つに、パテント杯を中心としたこの野球があります。

10年くらいの上記受験時代の特に後半の6年間くらいはほとんど運動せず、血行も悪くなり、体重も10kgくらい太りましたし、中性脂肪により血管が極度のダメージを受けてきたはずですので、上記受験生活により寿命が3年くらい縮まったと予想しています。

野球の個人練習をじっくり継続することで体重は受験時代のマックス体重と比べて驚くべきことに15kg以上減り(その他要因もありますが)、10代の頃の体重に戻りました。

(以上)